

平成30年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	国語表現	3	3-1～3-A

1. 学習の到達目標

基本から発展へとステップアップできる語句・語彙を学び、正しい日本語を理解させ、文章で表現できる力を養う。その上で小論文については、「テーマ型」・「課題文型」に分け、それぞれの特徴やパターンを正確に理解する能力を身につけ、文章化する技術を養う。また、文章を作る楽しさを味わいながら、言語知識や書く力により人生を豊かにする人権感覚を高める。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	問題集による演習 確認テスト 漢字問題集による小テスト 小論文の書き方 原稿用紙を使っての実践 推敲・再編（書き直し）練習・添削	基本的な漢字、四字熟語、慣用句、文学史などの知識を身につけ、確認テストで反復練習をすることにより、実践的に活用する力をつける。 文章表現の中で、正しく使用する。 文章表現に必要なきまりを理解させる。 原稿用紙の正しい使い方や、小論文の記述の仕方・時間配分・論証方法・自分の主張を確認する力を養う。
2 学 期	問題集による演習 確認テスト 漢字問題集による小テスト 小論文の書き方 小論文問題集（特化型） 読解・要約演習 グループ討論 ディベート・プレゼンテーションの実践	知識の定着化と日常の中でことばを正しく使える応用力を身につける。 文章表現に必要なきまりを理解させる。 各分野に特化したテーマ型や課題文型の設問に取り組み、読解力や要約力を養う。また、テーマに対して正しい知識を持ち、人権意識をより高めていく。 その場に応じて、自身の意見を適切に主張する力を育む。
3 学 期	1年間のまとめ 手紙文・礼状の書き方	これまでの学習内容を振り返り、自分の弱点分野に気づき、克服の見通しを立てる。 手紙文・礼状の書き方の基本を身につける。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度等による。
------	---------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現し、理解する。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立てる。表現を工夫して話したり文章に書いたりする。	話し手や書き手の考えに即し内容を正確にとらえ、自分の考えを深めたり発展させたりしながら話や文章を的確に理解する。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身に付ける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	国語表現（大修館書店）
副教材	パスポート国語必携四訂版（桐原書店）・小論文チャレンジノート（第一学習社）・常用漢字ダブルクリア三訂版（尚文出版）